


商品企画書

1. 商品名等

商品名	屋久高才茶レーヌ		
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)		
	<p>「屋久高才茶レーヌ」は、SDGsについて学んだ生徒がフードロスの解決を目指すと同時に、屋久島の新たな特産品として売り出そうと企画開発した商品である。地元の製茶会社から廃棄する三番茶を提供していただき試作を重ねて完成に至った。</p> <p>屋久島の無農薬茶葉を使用したマドレーヌは、バターの甘い風味とお茶の風味が絶妙に絡み合い、食感も良く、一度食したら忘れられない味となっています。</p>		

2. 学校紹介

学校名	鹿児島県立屋久島高等学校	電話	0997-42-0013
住所	鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦2479-1	FAX	0997-42-0620
担当者	斉藤 武		
U R L	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/yakushima/		
E-mail	yakushima-sh@edu.pref.kagoshima.jp		
<p>本校は昭和23年に創設された島内で唯一の全日制高等学校である。創立当初からの大きな目標である屋久島の将来を担う人材の育成はもちろんのこと、これからの社会に有為な人材の育成を目指している。</p> <p>創立74年を迎える伝統校で、校訓である、「敬愛」・「互譲」・「協力」のもとこれまで多くの卒業生を輩出しており、時代の流れや生徒の実態に応じた学校経営を行っている。平成7年には『情報ビジネス科』を、さらには平成13年には普通科に『環境コース』を設置し、「世界自然遺産屋久島」の自然と環境を基盤においた教育活動を実施している。1島1校であるため、地域からの期待も大きく、サポートも力強く信頼も厚い。</p>			

3. 実施科目等

科目名	課題研究	単位数	3単位
対象生徒	情報ビジネス科3年	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

知財力開発校支援事業

5. 開発経緯等

屋久島の観光は1993年の世界自然遺産登録を機に最盛期を迎えていたが、その後は観光客の数も減ってきており、近年はほぼ横ばいの状況である。更に、今年新型コロナウイルスの影響で観光客は激減しており、町内の観光業界や関係する宿泊施設・飲食店等は大打撃を受けている状況にある。そこで、高校生が屋久島のことを真剣に考えて地域を盛り上げる為に活動している様子や、実践的な活動を通して少しでも明るい話題を提供し、地域の方々を元気に出来ないかと考えて、「屋久高発！！屋久島お助け隊」を結成することにした。商品開発やSNS等の発信で客離れを食い止め、コロナ収束後に、またすぐに活気を取り戻せるような状態にしたいと考えている。

「屋久高オ茶レーヌ」は、SDGsについて学んだ生徒がフードロスの解決を目指すと同時に、屋久島の新たな特産品として売り出そうと企画開発した商品である。地元の製茶会社から廃棄する三番茶を提供していただき試作を重ねて完成に至った。

商品の開発にあたっては環境分析→開発テーマの意思決定→市場調査→コンセプトの立案→商品の仕様→試作品と手順を踏んで行った。イベントでの販売に向けて、広報活動も積極的に行い、新聞・インターネット・町報と多くのメディアに取り上げていただき、パブリシティに繋げることができた。



調理の様子



生徒考案のパッケージデザイン



販売の様子

6. 販売形態・期間

①
・
無

本校情報ビジネス科主催「環境フェスタ」での販売

7. 協力者等

①
・
無

有限会社 ハラダ製茶

8. 商標登録の有無

有
・
無

9. 今後の課題・展望等

自分たちだけの継続的な販売は物理的に難しいものがあり、地元企業に協力を打診したところ、商品化に向けて一緒に取り組んでいただけることになった。越えるべき課題は多いが、屋久島の新たな特産品にするべく、取組を進めていきたいと考えている。